

日本情報考古学会会報 No. 32

2013 (平成 25) 年 7 月

NEWSLETTER OF THE JAPAN SOCIETY FOR ARCHAEOLOGICAL INFORMATION NO.32 July 2013

目次

日本情報考古学会第 31 回大会のご案内	1
2012 年度日本情報考古学会シンポジウム 報告	2
2012 年度第 2 回理事会議事録	3
学会員の皆様へのご挨拶とお願い	3
2013 年度会費納入のお願い	4
事務局移転のお知らせ	4

日本情報考古学会第 31 回大会のご案内

日本情報考古学会第 31 回大会は、9 月 28 日・29 日の 2 日間、鹿児島国際大学（鹿児島市坂之上 8 丁目 34-1）で開催いたします。

今回の大会テーマは「土器研究の新視覚 — 多様な情報から過去を探る —」です。土器は、考古学において一般的であり、古くて新しい研究対象といえますが、方法やアプローチのしかたを工夫することで、土器が秘めている過去に関する豊かな情報を引き出せると考えられます。そこで、上記テーマを掲げ、特別講演 2 件を行うほか、一般講演でも関連する発表を募集し、多角的に検討する機会とすることにいたしました。もちろん、従来どおり幅広く情報考古学に関する一般講演のお申し込みも歓迎いたします。

九州での大会開催はこれが初めてとなります。意義ある大会となりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。多数のご参加をお待ちしております。

テーマ：「土器研究の新視覚 — 多様な情報から過去を探る —」

【開催日】平成 25 年 9 月 28 日（土）13:00 ～*

9 月 29 日（日）10:00 ～ 15:30 *

*上記時間は予定です。発表件数等の都合で前後

します（特に終了時間）。ご了承ください。

【会場】鹿児島国際大学（鹿児島市坂之上 8-34-1）
附属図書館 4 階 視聴覚ホール

鹿児島空港からリムジンバスで鹿児島中央駅下車、JR 指宿・枕崎線で坂之上駅下車。

新幹線ご利用の方は、鹿児島中央駅で JR 指宿・枕崎線乗換、坂之上駅下車。駅前からタクシー（大学まで約 4 分）、または指宿方向徒歩 250m にスクールバス乗場（土曜日のみ）があります。アクセスは <http://www.iuk.ac.jp/gaiyou/access/>（スクールバス時刻表等も確認できます）。

車の方は、指定駐車場に駐車してください。

<第 31 回大会一般講演の募集について>

本大会の一般講演（研究発表）を募集します。大会テーマに関連するものだけでなく、従来どおり幅広く情報考古学に関するものも受け付けます。奮ってご応募いただきますよう、お願いいたします。

※一般講演申込みにあたり、1 件につき少なくとも 1 名の発表者は会員である必要があります（入会申込受付中）。
※発表時間は 1 件 20 分程度の予定（件数等によります）。

【講演申込締切】8 月 7 日（水）

【講演申込方法】大会発表申込書を sec@archaeo-info.org 宛に添付メールで送信ください。受付通知をもって申込受領といたします。以下は、学会ホームページからダウンロードできます《①大会発表申込書（Word 文書）、②執筆要項、③執筆用フォーマット》。メールを使用されない方は、郵送での申込みも可とします（締切に間に合うよう事務局に提出ください。大会発表申込書等が必要な場合は請求ください）。

※お申込みいただいた内容について査読を実施のうえ、採否をお伝えいたします。

【原稿締切】9 月 6 日（金）

【プログラム】8 月 15 日以降公表予定（HP に掲載）

大会実行委員会からプログラム等をお送りする予定です)

【昼 食】1日目の昼食は学内の各食堂をご利用いただけます。

2日目は学食等が利用できません。大学周辺に食事ができる店が少ないため、各自でご用意いただくか、1日目(土)に弁当の予約を受け付けますのでご利用ください。

【懇親会】1日目(土)終了後に懇親会を行います。当日受け付けます(詳細は未定)。

【宿 泊】鹿児島中央駅周辺を中心に市内にはホテル等が多数ありますので、各自でご予約ください。

大会プログラムについては、大会直前の会報としてのお知らせを省略する代わりに、学会ホームページ <http://www.archaeo-info.org/> でのご案内と併せて、大会実行委員会からも詳細な内容を郵送する予定です。その後、追加情報や変更等がある場合は、原則として同ホームページ上でお知らせします。ご注意ください。

今大会につきまして、ご不明な点は、下記までメールにてお問い合わせください(調査等で不在のことがありますので、メール連絡にご協力ください)。

【連絡先】日本情報考古学会第31回大会実行委員会(委員長 中園聡) archaeoinfo31@gmail.com

2012年度日本情報考古学会シンポジウム報告

2013年3月16日(土)に大阪電気通信大学駅前キャンパスにおいて、「革新的デジタルメディアと考古学」と題して、2012年度日本情報考古学会シンポジウムを開催しました。写真のようにパネラーの方々による熱心な取り組みを発表いただき、盛況のうちに無事終了することができました。

ご協力いただいた関係者の皆様に感謝いたします。

当日のプログラムは以下の通りです。

開会挨拶(千原國宏 実行委員長)

講演1 宗教と情報の交わる場所：東大寺での試みから

砂原秀樹氏(慶應義塾大学大学院メディアデ



ザイン研究科・教授)

佐藤智和氏(奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科・准教授)

講演2 文化財における大規模三次元計測 遺跡計測から航空レーザまで

岡本篤志氏(大手前大学史学研究所・研究員)

講演3 三次元計測のいろいろ

富井隆春氏(合同会社 amuse oneself)

閉会挨拶(植木武 会長)

2012年度第2回理事会議事録

2012年度第2回日本情報考古学会理事会を以下の通り行いました。

日時：2013年3月16日（土）10:00～12:00

場所：大阪電気通信大学 駅前キャンパス

出席者：植木武、佐藤宏介、植田真、千原國宏、廣田吉三郎、宝珍輝尚、三瓶裕司、三辻利一、横見博之、村上征勝

1. 報告

1.1 役員選挙結果について

2013～2015年度学会役員選挙結果の報告があった（会報No.31に掲載済み）。当選理事は24名であるが石川会員退会のため23名となる。また監事の和田会員が辞退された旨の報告があった。

1.2 2012年度の2月までの会計報告

2012年度の2月までの学会の経営状況について報告があった。2012年度の収支報告については3月末に会計を締め、次期総会で報告し、審議を受ける。

2. 審議事項

2.1 2013年度大会開催校について

2013年度の大会（9月予定）を鹿児島国際大学で開催する。

2.2 学会費値上げについて

学会の経営状況が逼迫している状況を検討した結果、次年度より会費を、正会員5,000円から8,000円に値上げする案を次期総会に提案することとした。なお準会員（学生会員）3,000円、賛助会員一口20,000円は据え置く。

2.3 学会誌の電子化について

学会誌は電子化し今年度からインターネットに掲載する。今年度はインターネットにアップすると同時に冊子体も作成するが、冊子体の作成については1年を目安に廃止する。

2.4 学会誌掲載有料化について

学会誌への掲載有料化について検討したが、学会費値上げの予定もあり今年度は見送ることとした。

2.5 研究分科会の立ち上げについて

幾つかの研究分科会を設置することが検討されたが、詳細については次期理事会で決定することとした。

学会員の皆様へのご挨拶とお願い

今般、前理事会の承認を得て、2期目の会長職を任された植木武です。日本情報考古学会の創設時からのメンバーとして、そして、3代目会長として、会員皆様に改めて決意と抱負を語らせて頂きたいと思いません。同時に、本学会のもつ最近の課題を正直に申し上げ、会員皆様からのご承認・ご容認を頂ければと、心より願っております。

私どもの学会は考古学を中心にはしていますが、その周辺諸科学、つまり、隣接諸科学からの全面的バックアップを受ける形で今日まで存続してまいりました。そして、周辺諸科学の多くは、コンピュータを使用する領域が多く、従って、私どもの学会は、いふなれば「デジタル考古学」と呼ばれて宜しいかと思いません。ヨーロッパにおいては、このデジタル考古学が次第に大きくなり、一大潮流となりつつあるのですが、我国においては、今ひとつというところで飛躍できず、足踏みをしている状態にあります。この原因を考古プロパーの方々に聞くと、一様に「難しいから…」という返事が戻ってまいります。しかし、21世紀に入り、時の流れは、いよいよ私どもの背中を押してくれています。今こそ、本学会はその役割を果たすべく、大きく一步を踏み出すべき時と考えております。

そして次は、理事会から会員の皆様に対するご提案となります。

ご提案：正会員の年会費を5,000円から8,000円へ変更させていただきます。ただし、準会員（学生会員）費と賛助会員費は据え置きさせていただきます。

上記は、私どもとしても誠に心苦しいお願いです。学会設立以来、長年にわたり年会費を据え置いたままで何とかやりくりしてきました。理事の方々も、すべて自己負担で献身的にやってきました。しかしながら、考古学関連の他学会でも同様の問題が聞かれますが、

本学会でも年来の会員数の減少という問題があり、このまま放置すると早晩学会が立ち行かなくなるという深刻な事態に直面しています。これまで理事会での討議を重ねてきましたが、ついに値上げのご提案も余儀なしという結論になりました。学会は赤字では存続できません。今年度の総会でこの件を提案させていただくことにいたしますので、どうぞ、以上の点をご斟酌の上、ご容認して頂ければと、心よりお願い申し上げます。

一方、私どもは、今までの学会の体質を変え、会員の皆様にとり、もっと魅力のある学会へと変身すべく、努力を致す覚悟しております。具体策は練り上がりつつあり、近いうちに、皆様にご報告出来るよう渾身の努力を重ねております。

本日は学会年会費の値上げのご提案と、従来の学会体質変換のお約束をして、また、会員皆様方のご健康とご多幸を祈らせて頂きながら、筆を置かせて頂きます。

2013年7月20日
日本情報考古学会
会長 植木 武

2013年度会費納入のお願い

会報 No.31 で 2013 年度会費納入（正会員 5,000 円、準会員（学生会員） 3,000 円）のご案内をいたしました。未納の方は下記の振込先に納入願います。安定した学会運営のために、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

また、本学会では会員数の増加に取り組んでおります。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、このたび便利なコンビニエンスストアからの会費納入もできるようになりましたので、ぜひご利用ください。

銀行振込

南都銀行 京田辺支店 普通口座 0301986

口座名：日本情報考古学会事務局

郵便振込

01040-2-30981

名称：日本情報考古学会事務局

コンビニエンスストア

同封の案内をご覧ください。

事務局移転のお知らせ

本学会は、長らく同志社大学文化情報学部に事務局を置き運営してまいりましたが、今年度より事務局が鹿児島国際大学に移転いたしました。現在会務を段階的に引き継ぎ中ですが、8月1日から完全移行する予定です。

会務を滞りなく行うよう努めるとともに、本学会の活性化に尽力して参りたいと思います。

つきましては、会員の皆様には、一層のご指導・ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本情報考古学会
事務局長 中園 聡

※新事務局の所在地、連絡先については、下記奥付に記載のとおりです。ご連絡の際は、行き違い等为避免のため、E-mail をご利用くださると助かります。

日本情報考古学会会報 No.32

2013年7月20日

発行 日本情報考古学会事務局

〒 891-0197 鹿児島市坂之上 8 丁目 34-1

鹿児島国際大学 中園聡研究室内 日本情報考古学会事務局

Tel 099-261-3211 (Ext. 5113) Fax 099-261-3299 (代表)

E-mail: archaeoinfoiuk@gmail.com

<http://www.archaeo-info.org/>